

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称
株式会社 カルファイン 金平工場
- (2) 事業所の所在地
広島県神石郡神石高原町有木 5 1 3 - 9
- (3) 業種
鉱物・土石粉碎等処理業
- (4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26(2014)年度を基準年度とし、平成28(2016)年度 から平成32(2020)年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当社は、自然の恵みとそれを産出するこの地域に生業の源を置く鉱山会社である。恵まれた鉱物資源を最大限活用し、社会快適な暮らしを創造するための素材を造って行くことを基本とする。

企業活動と環境との調和を図り、地域に受け入れられ貢献できる企業であるべき本質はここから生まれる。この実現に向けて、当社は環境基本方針を設定し、当社及び社員はこの方針に基づいて環境の保全に努めていく。

2 環境方針

環境との調和を図るための企業活動指針として、次のとおりとする。

- 1) 従業員の安全確保と、健康で働きやすい職場環境作りを推進する。
- 2) 限られた資源を知恵と工夫で最大限に有効活用し、資源枯渇抑制を図る。
- 3) 設備・機器のムリ・ムダ・ムラを根絶し、省エネに努め地球温暖化の防止を推進する。
- 4) 環境関連法及び自主管理基準を遵守し、地域社会への貢献に誇りを持つ企業風土を築く。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成26年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	11,714	9,390	9,390

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)	削減目標		目標年度 (平成32年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	9,390	5.0	470	8,920
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	軽油の使用量を10%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ等のエコドライブの実践 ・フォークリフト、重機等更新時には低公害車を率先して導入する。
2	電気使用量の削減	電気の使用量を5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ファン・モーターをインバータで制御する。 ・高効率照明器具への更新 ・モーター、トランス更新時には、省エネ型を導入
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

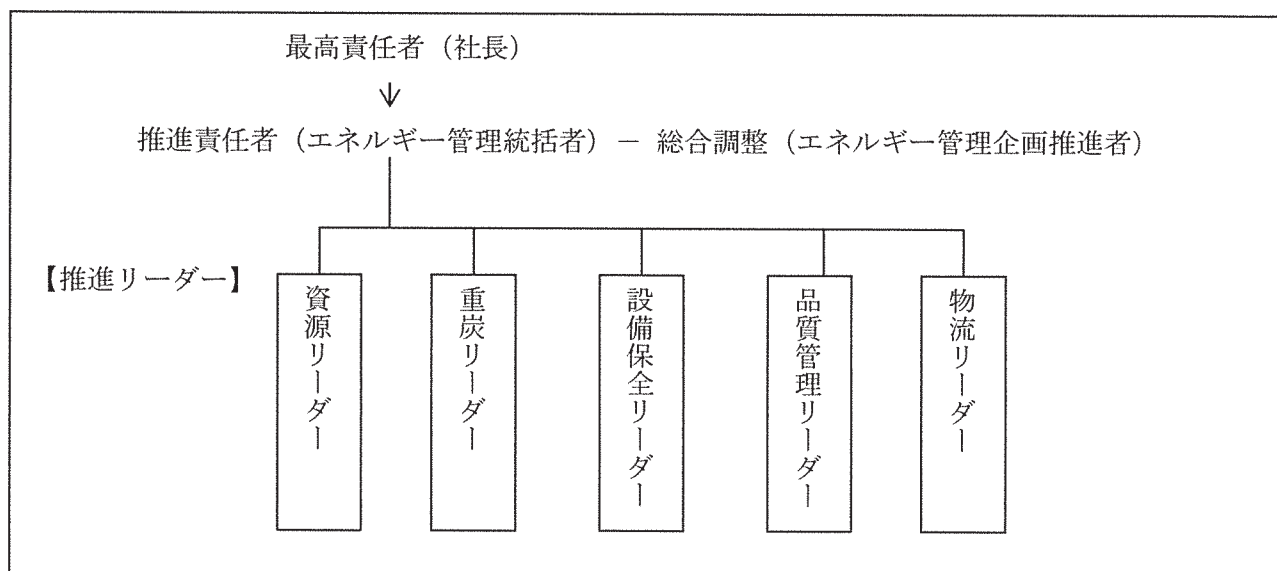
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量を5%削減	両面コピー、裏紙利用など
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

月に1回開催される販研生会議において、定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。

エネルギー管理企画推進者が、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行なう。また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

・事務所に備え付けて閲覧する。